道こども計画骨子案たたき台意見への対応

資料４－１

ご意見	委員 （部会）	意見への対応（考え方）
ライフステージ別の重要事項を引用していることから、ライフステージと対応させた一覧が必要	河合委員 （次世代）	・ライフステージと対応させた資料を作成しました。
・基本方針Ⅰにこどもの大綱の「ライフステージを通した重要事項」、「（2）多様な遊びや体験・活躍できる機会づくり」を位置付け理由は。（1）は基本方針Ⅰとよく対応すると思うが、（2）は少々違和感がある。 ・基本方針Ⅳ「」	河合委員 （次世代）	・「（2）多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり」につきましては、基本方針Ⅲ「こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じてくれ目なく対応し、十分に支援する」に位置付けることとしました。 ・なお、ご提案いただきました、基本方針Ⅳへの位置付けにつきましては、「貧困と格差を解消する」といった趣旨等を勘案した上で基本方針Ⅲに位置付けることが適当と判断したものです。
基本方針に対応していない、こども大綱の「重要事項」もあることから、こども大綱のどの部（項目）が計画に対応しているのかわかる対象表があると確認しやすい。	河合委員 （次世代）	・こども大綱と計画の対応表を作成しました。
基本方針に対応する「主な取組の方向性」が全体のバランスが崩れないように枠組みを組んで欲しい。	今西委員 （次世代）	・全体のバランスが崩れないように配慮し、枠組みを検討しました。
基本方針Ⅰ（1）こどもが権利を持っているのだということがわかるように、大人向けのところもどこかに入れていただきたい。「意見を言っていいよ」、「興味があるんだよ」というようなところを大人側がどうのように思っているのかというところをセットにして進めていかないことには実際の動きにはなっていかない。	津村委員 （次世代）	いただいたご意見も踏まえ、素案たたき台に「こどもの権利の普及啓発・情報発信」の取組を整理しました。
基本方針Ⅰ～Ⅵまである中で、どこかに「夢や希望が持てる」という文言が入れられないか。	津村委員 （次世代）	・基本方針は、こども大綱を勘案していることから、こども大綱の「こども施策に関する基本的な方針」としています。いただいたご意見も踏まえ、素案たたき台「定住や移住促進に向けた取組への支援」に記載しております。
基本方針Ⅴの下から２行目「隘路の打破」という表現がちょっと難しい感じがするので、「隘路」に対しては「拓く」という方が表現的にはいいと思う。「隘路を切り拓く」、「打開する」という表現が良い。 わかりやすく書くとしたら、「阻む課題や問題の解消」。	津村委員 （次世代）	・基本方針は、こども大綱を勘案していることから、こども大綱の「こども施策に関する基本的な方針」と同様の記載としています。 ・「隘路の打破」という表現が難しいというご指摘につきましては、注釈や用語集などでわかりやすい説明の記載について検討してまいります。
基本方針Ⅳの「良好な成育環境を確保」の「良好な成育環境」とはどういうものなのか、そもそもどんなことが整っていると、あるいは起きていると「良好な成育環境」ということになるのか。基本方針Ⅰ（２）「多様な遊びや体験」、「活躍できる機会」これ自体がある種、良好な成育環境を作る、あるいはそうじゃないとできないものではないか。	河合委員 （次世代）	・いただいたご意見を踏まえ、素案の作成に向けて検討してまいります。